

# 市議会だより



## 「二十歳を祝う会」が 開催されました

民法の一部改正により、成年年齢が20歳から18歳に引き下げられたことから、今年から「成人式」の名称を「二十歳を祝う会」に変更して開催されました。二十歳を迎えたみなさん、おめでとうございます。

## 10月臨時会・12月定例会

- 臨時会と定例会の主な議案 ————— 2～3ページ
- 委員会での審査 ————— 4ページ
- 議案の審議結果 ————— 5ページ
- 一般質問 ————— 6～16ページ



ピーちゃん

ナツちゃん

主な内容



## 市議会議員補欠選挙により2名の議員が当選しました

市議会議員の辞職により欠員になっていた2議席について、11月20日の市長選挙と合わせて補欠選挙が行われ、2名の議員が当選し、市議会議員となりました。



小山 昌弘 議員  
(こやま まさひろ)



木村 由希子 議員  
(きむら ゆきこ)

## 10月臨時会の主な議案

10月臨時会は、10月18日に開会され、1議案が上程、議決されました。

### 子育て世帯物価高騰支援事業

物価高騰の影響による子育て世帯への経済的負担を支援するため、市独自施策として市内に住む18歳以下の子ども1人あたり、2万円の支援金を給付します。

担当 子育て支援課 (☎443-1693)



### 妊婦出産等支援金給付事業

食料品等の物価高騰による経済的負担を軽減するため、令和4年11月2日以降に出産を予定する妊婦の方へ2万円の支援金を給付します。

担当 健康増進課  
(☎443-1631)



# 12月定例会の主な議案



12月定例会は、12月19日から12月27日の会期で開催され、会期中に市長提出議案15議案、議員提出議案3議案(発議案)が上程され、可決されました。その中から、暮らしに関わる主な議案を紹介します。



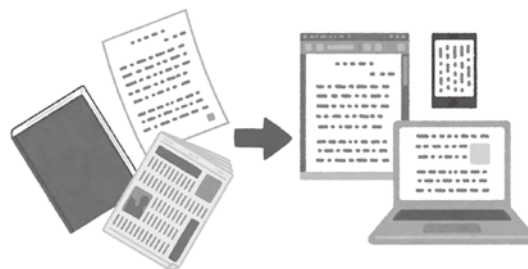
## 小中学校の電子黒板購入

市内の小中学校に電子黒板を設置しICT教育の環境を整備するため、電子黒板を合計160台購入します。(議案第10号)



## 情報通信技術を活用した行政の推進等に関する条例の制定

デジタル手続法が適用されない条例等に基づく手続き等について、書面等での手続きに加えて、デジタルによる手続きを可能とする条例です。(議案第8号)



## 学校給食費の無償化を求める意見書

国の財政支援による学校給食費の無償化を迅速に実施するように国、県に対して要望書を提出しました。

(発議案第6号、発議案第7号)



▲1月24日、鈴木議長と小澤文教福祉常任委員長が山本県議会副議長の立ち合いのもと、富塚県教育長に意見書を提出しました。

## 農業・中小企業等事業継続の支援充実に関する意見書の提出

燃油や農業資材の価格高騰が農業・中小企業等に及ぼす影響を最小限にするため、経営支援の強化、価格高騰への対策の拡充を実施するように国に対して要望書を提出しました。(発議案第8号)



# 委員会 での審査

紙面の都合上、  
質疑等一部を掲  
載します。

## 総務

12月20日、総務常任委員会を開催し、10議案について審査しました。

◆個人情報保護法施行条例の制定  
個人情報保護の保護に関する法律

が改正され、全国的な共通ルールが定められたことにより、条例を制定します。

問 要配慮個人情報など、重大な不利益を及ぼす個人情報の取り扱いはどうにするのか。

答 従前どおり個人情報の取り扱いに配慮します。

◆情報通信技術を活用した行政の推進等に関する条例の制定

市民サービス向上のため、各種手続きの電子化を進めるため条例を制定します。

問 申請のデジタル化による取り残しのない手続きのための対策は。

答 デジタル化は市民生活の向上に資するものと考えていますが、デジタル機器が苦手な方や利用しない方にデジタルを強いることなく、従来の紙を使った手続きも重要だと考えています。

問 スポーツプラザや中央公民館の予約も従来の紙での申請からオンライン化されるのか。

答 令和5年4月を目標に施設予約のオンライン化の準備を行っています。

◆一般会計補正予算  
光熱費は今までと比べてどのくらい増えているのか。

答 12月の補正予算では全体の電気料金の総額で、1億3千万円の増額です。

問 まちづくりコーディネーターになる要件等は。

答 特に要件等は定めておらず、まちづくりに情熱のある方を採用したいと考えています。

## 文教福祉



12月21日、文教福祉常任委員会を開催し、3議案について審査しま

した。

◆児童遊園の設置及び管理に関する条例の一部改正

北中道子ども遊び場の児童クラブの移転により、利用する児童がいなく、安全に利用できる環境にないことから同遊び場を廃止します。

問 子どもの居場所として残すことは検討しなかったのか。

答 子どもの居場所作りは本市の重要な課題です。この場所に限らず、子どもの居場所作りを検討します。

◆一般会計補正予算

問 図書館の消火設備更新工事について、修繕ではなく更新工事とした理由は。

答 現在の消火設備は、導入から30年以上経っており、修繕の部品が無く修理ができないため、設備を更新します。

問 学校給食残さ処分業務、学

校給食残さ収集運搬業務は、毎年高額が計上されている。これを改善するための検討は。

答 給食残さの処分は、運搬費の金額が高くなっています。できるだけ多くの業者の方に入札に参加していただけるように

努力しています。また、残さ処理の方法についても新たな技術の情報収集していきます。

## 経済建設

12月22日、経済建設常任委員会を開催し、3議案について審査しました。

◆一般会計補正予算

問 清掃費の増加は、電気料金の高騰によるものか。

答 電気料金の値上がり分の増額補正です。

問 今後の電気料金の対策は。

答 焼却施設の委託業者と連携し、節電に努めます。



◆下水道事業会計補正予算

問 下水道使用料収納業務はどのくらいの金額を見込むか。

答 これは、コンビニ収納にかかる手数料で、来年度、およそ8千300件。46万4千500円を見込んでいます。

令和4年9月定例会議案等賛否一覧（※）

議案番号等	件名	結果	各議員の賛否																	
			議長	誠和会					公明党			やちまた21		改	革	新	日	本		
			鈴木 広美	木村 利晴	山口 孝弘	林 修三	小菅 耕二	山田 雅士	小川 喜敬	角 麻子	木内 文雄	栗林 澄恵	加藤 弘	林 政男	小澤 孝延	桜田 秀雄	新見 準	小高 良則	石井 孝昭	丸山 わき子
発5	消費税インボイス制度導入時期の再考を求める意見書の提出について	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

令和4年10月臨時会議案等賛否一覧

市長提出議案																				
議1	令和4年度八街市一般会計補正予算について	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※やちまた市議会だより第230号に令和4年9月定例会の発議案第5号の議案結果の掲載漏れがあったため、今号に掲載しています。

令和4年12月定例会議案等賛否一覧

議案番号等	件名	結果	各議員の賛否																	
			議長	誠和会					公明党			やちまた21		新	日	未	改			
			鈴木 広美	木村 利晴	山口 孝弘	林 修三	小菅 耕二	山田 雅士	小川 喜敬	小山 昌弘	角 麻子	木内 文雄	栗林 澄恵	加藤 弘	林 政男	小澤 孝延	小高 良則	石井 孝昭	丸山 わき子	京増 藤江
市長提出議案																				
議1	八街市行政不服審査法施行条例の制定について	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議2	八街市公文書公開条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議3	八街市個人情報保護法施行条例の制定について	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×
議4	八街市職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議5	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議6	八街市職員の高齢者部分休業に関する条例の制定について	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議7	八街市一般職の職員の給与等に関する条例及び八街市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議8	八街市情報通信技術を活用した行政の推進等に関する条例の制定について	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議9	八街市児童遊園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議10	令和4年度八街市一般会計補正予算について	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	退
議11	令和4年度八街市国民健康保険特別会計補正予算について	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議12	令和4年度八街市介護保険特別会計補正予算について	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議13	令和4年度八街市下水道事業会計補正予算について	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議14	令和4年度八街市水道事業会計補正予算について	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議15	令和4年度八街市一般会計補正予算について	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×
議員提出議案																				
発6	学校給食費の無償化を求める意見書の国への提出について	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発7	学校給食費の無償化を求める意見書の県への提出について	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発8	持続可能な農業・中小企業等事業継続のための支援充実に関する意見書の提出について	原案可決	—	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議案番号等欄 議・・議案 発・・議員発議案  
 ※鈴木広美議長は採決に加わりません。  
 各議員の賛否欄 ○・・賛成 ×・・反対 欠・・欠席 退・・退席

# 市政を問う!

一般質問は、市の行財政全般にわたって、執行機関に疑問点をただし、見解を求めるものです。12月定例会の一般質問は、12月20日(火)、21日(水)、22日(木)の3日間に15名の議員が質問しました。(ここでは紙面の関係で、その一部を要約して掲載しています。)



録画中継

## より安全な道路整備

代表質問

市民が住みよい街づくり

誠和会 林 修三



**問** 市内道路の体系的な整備計画は。

**答** 交付金などを活用しながら市道106号線文違地先、市道文違1号線イオン付近、市道夕日丘13号線松林交差点付近などの道路改良工事を進めています。今後交通安全が優先となりますが、市道116号線小間子神社付近の交差点改良実施計画や市道五区1号線整備など引き続き計画的に整備します。

**問** 通学路のさらなる整備計画は。

**答** 通学路の整備計画については、緊急一斉点検で挙げられた150か所の対策のほか、第4期安全プログラムや各小学校での「聞き書きマップ」などで挙げられた危険箇所が報告されており、早期に対応できるものから対策を実施しているところです。今後、関係機関と連携しながら児童と保護者が安全に通学できるように二区

地先の追分交差点や市道住野16号線ローソン前交差点の実施設計を行うなど計画的に整備を進めていきます。

## より安心な子育て

**問** 今後の公立幼稚園、公立保育園の運営は。

**答** 教育委員会としては関係部局と連携協力し、幼稚園、保育園の適正配置に関する検討会を設置し、市内において検討会を行っており、今後、有識者の意見を伺って進めます。

**問** もはや検討から次の段階に入る時期ではないかと思うが。

**答** 市立幼稚園については、なるべく早い時期に方向性を示したいと思しますので、ご理解をいただきたいと思えます。

## 豊かな文化の振興

**問** 文化の振興について市長の考えは。

**答** 八街市総合計画2015で芸術文化の振興を明記しており、さまざまな文化への意識の高揚を図り、「文化は街づくり」の立場から振興に努力してまいります。

## ひまわりいっぱい街

**問** 市制施行30周年における取り組みは。

**答** 特別な取り組みは行っていませんが、転入者への周知として、市民課で配布している資料封筒にひまわりの種を同封し、周知を行っています。

**問** 市の花ひまわりの今後の取り組みは。

**答** 広く市民に周知する活動を行っているところですが、さらにその活動を継続し、「ひまわり」が市の花であることとのPRや他市との交流の中でもそのことを念頭に置きながら進めていきます。



代表質問

物価高騰から暮らしを守る市政を

日本共産党 丸山 わき子



給食費の無償化

**問** 当市の財政調整基金の適正値は。

**答** 令和4年度末の見込み残高は20億5千万円です。当市の標準財政規模の約130億円の10から15パーセントを確保していくように考えています。

**問** 県は第3子からの給食費の無償化を実施するが、対象は一部の家庭であり、財政調整基金を活用して全世帯対象の給食費の無償化を求めるが。

**答** 国・県が、どう子どもを守り育てるかが大事だと思っています。県市長会の中でしっかりと発言していきます。



補聴器購入時の助成を

**問** 加齢性難聴は、75才以上にすると7割以上が発症するといわれており、高齢者が生活の質を落とさず、心身ともに健やかに

過ごすために、加齢性難聴者の補聴器購入助成を。

**答** 市独自の助成制度の創設について研究します。また、聴覚機能低下が見られる高齢者全般に関わるため、全国市長会においても、国に対して積極的な措置を講じることを求めた提言も行っています。

高すぎる国保税の引き下げを

**問** 市民への厳しい課税状況の一方で、国保の財政調整基金は5億6千万円となっており、市民の「国保税を何とかして」の悲鳴に応え、財政調整基金の活用での国保税の引き下げは。

**答** 本市の国保財政は、今後の団塊世代の後期高齢者医療保険への移行による被保険者数の減少、コロナウイルス感染症の影響等による収入の減少により、保険料課税額の減少が見込まれます。また一方で医療の高度化等による医療費のさらなる増加で、国保財政が不安定な状況となり、国保税

の引き下げは困難であると考えています。

介護保険料の引き下げは

**問** 年金の引き下げ、10月から75才以上の医療費2倍の負担増、また介護保険料を納めながら、いざ使うときには利用料が高くて必要なサービスが受けられないなど、高齢者の負担増で暮らしが脅かされている。物価高騰の下で、介護保険料の引き下げは切実。市の介護保険準備基金の積立金を9億3千万円活用して、保険料の引き下げを。

**答** 介護保険事業の安定的な運営を図るとともに介護保険料の算定については被保険者の負担を最小限に抑えられるように、介護給付費準備基金の活用も含めて、慎重に検討します。

北総中央用水事業

**問** 八街市の農業を取り巻く状況は、北総中央用水事業が始まった昭和54年当時とは大きく様変わりしており、必要なところへの供給とともに、受益を外してほしいという受益者対策が求められている。既に農業者ではない受益者も含めた実態調査、地区ごとの

対応策は。

**答** 受益農家の見直しと併せた受益地からの除外について、法的にできるのか、また同様の事例や、実施したことで受ける影響など、様々な視点からの調査研究を土地改良区に依頼するとともに、関係市の現状や関係機関の意見も伺いたいと考えています。



▲北総中央用水調整水槽

上水道事業

**問** ハツ場ダムとともに霞ヶ浦導水事業完成後の受水が本格的に始まれば、水道料金アップにつながることは明らか。この間も提案してきたが、暫定井戸の活用、県の余剰水の活用で、将来的に市民に負担が生じない取り組みは。

**答** 暫定井戸の継続利用の要望を、2月に関係市町長の連名で、千葉県知事に提出したいと考えています。また、送水に係る経営の効率化を図り、受水単価の引き下げにつながるように働きかけをしています。

代 表 質 問

交通体系のさらなる充実を

やちまた21 小澤 孝延



交通網の整備

**問** 八街十字路は右折車線が整備されていないため、慢性的な渋滞を引き起こしている。八街十字路交差点改良と国道409号を迂回するバイパスの整備について、市の考えは。

**答** 八街十字路交差点は、八街バイパスの開通により交通渋滞が緩和されましたが、通勤時間帯や季節によって渋滞する状況です。国道409号のバイパスは、八街ろ地先から佐倉市岩富地先を結ぶ区間の道路整備事業を現在進めています。



▲八街十字路

**問** 市内を横断する車輛は、大型車輛が多いため、路面の傷みが顕著になっている箇所が散見される。広域幹線道路の補修計画と進捗状況は。

**答** 市内の国県道を管理する県の印旛土木事務所によると、今年度、国道409号と県道千葉八街横芝線で舗装修繕等を実施しました。引き続き、ひび割れやわだち掘れなど、路面の劣化状況を見ながら適宜修繕を実施します。

**問** 国道409号四木入口交差点は右折車線がないため、交通渋滞が常態化している。この改良等の対応の状況は。

**答** 事業主体が県の印旛土木事務所であるため、引き続き強く要望しています。県では現在、市内の国道409号住野交差点の事業を進めており、その進捗を踏まえ、調整を図りながら検討すると聞いています。

**問** 東吉田の向台交差点から市道210号線の歩道整備が順次進んでいる。この進捗状況と完了時期は。

**答** 向台交差点付近から南に約1千500メートルの区間を、平成27年度から計画的な整備を進めています。未整備区間が約

470メートルあり、用地交渉等が必要なことから完了まで数年かかりますが、歩行者が安全に通行できるように整備していきます。

**問** 市道210号線と市道114号線の交差点は交通量が多く、危険な交差点です。信号機の設置等、改良の状況は。

**答** 県公安委員会との協議が終了し、事業を進めるように考えていましたが、周辺の用地取得等が進まなかったことから現時点では終了になっています。しかし、この交差点は事故が多発し、地元区からの要望もいただいております。危険箇所と認識しています。引き続き、土地所有者のご理解とご協力をお願いして、改良の着手に努力します。

**問** 近隣市と連携した都市計画マスタープラン、交通インフラの整備にあたり、具体的な連携の状況等は。

**答** 本市のマスタープランの作成にあたり、近隣市との整合性を図るため、各市町に赴き、情報を共有しています。その中で、広域プロジェクトとして成田空港のさらなる機能強化、酒々井インターチェンジを活用した地域振興、東金市のスマートインター

チェンジ構想の整備を後期プロジェクトとして挙げています。

ウォーカーブルな街づくり

**問** 令和4年3月に策定した八街市都市計画マスタープランの土地利用の基本方針の中のウォーカーブルな街づくりに向けた計画と取り組みは。

**答** JR八街駅周辺をウォーカーブル重点エリアに位置付け、バリアフリー化やユニバーサルデザインの見地に基づいた歩いて楽しい魅力ある都市空間の整備を目指しています。このためには、道路管理者、警察や地元関係者等との連携協力が必要不可欠であり、近隣の動向を注視しながら、慎重に調査研究していきます。

**問** ウォーカーブルな街づくりを含め、次代を担う子どもたちの思いや発想を吸い上げ、反映していく考えや実績は。

**答** 毎年一回開催されている「八街つ子夢議会」や、子どもたちの美術作品を八街駅南口商店街や小谷流の里などに展示する「八街ミュージアム」の企画など、子どもたちの思いや豊かな発想を聞き、地域の活性に繋げていきます。



代表質問

教育現場に人材の投入を!!

新誠会 石井 孝昭



地方創生

問 地方創生総合戦略で掲げた目標人口と現状の人口は。

答 令和4年4月1日現在で目標人口6万8千673人に対し、1千212人少ない6万7千461人です。厳しい人口減少の傾向が続いています。

問 合計特殊出生率からみる人口増のための対策は。

答 本市の合計特殊出生率は令和2年には過去で最も低い0・91となっています。25歳以上の有配偶率が他市と比べ低いことが、その一因と分析しています。来年度、妊婦に対して市外の産科に通院する交通費と超音波検査の費用の一部を助成する制度を創設する予定です。

問 結婚から出産、育児、子育て、教育の一環した持続可能な子育て支援が必要と思うが、総合的・具体的対策は。

答 来年、第3子以降の児童・生徒の給食費無償化を予定し

ています。このほか、出産・子育てしやすい環境づくりを目指して、現在も実施している助産師や保健師による新生児・赤ちゃん訪問、病後児保育の実施、ファミリーサポートセンターの設置など、妊婦や子育て家庭への切れ目のないサポートを行うことで、合計特殊出生率の向上や人口減少対策に努めます。

問 若者の転出を食い止めるための施策は。

答 総合戦略を着実に推進します。

問 市民の八街市に対する愛着や誇りを高める「シビックプライド」の醸成への取り組みは。

答 シティセールス活動の強化、市民講演会の開催や協働のまちづくりガイドブックの作成などの啓発活動に加え、新たに市民等の活動のつなぎ役となるコーディネーターを配置して、市民等が協働で取り組むことができる体制を整えます。

問 シティプロモーションの充実には。

答 市民や地元業者のご協力をいただき、官民一体で、より広く効果的に取り組みます。

問 市役所内にシティプロモーション課を設置し、新しい八街をつくっていただきたいと思うが。

答 今後、シティプロモーションに特化した専任の職員を置くことを検討します。

教育現場へ人材の投入を

問 スクールサポートスタッフの配置の状況は。

答 スクールサポートスタッフは、教員の働き方改革推進のため、県の会計年度任用職員として採用されている職員です。現在、市内の各小・中学校6校に8名が配置されており、今後、増員配置を要望します。

問 学習サポーターの配置の状況は。

答 学習サポーターは、学習支援、家庭学習の充実の支援等を行う地域人材を県が派遣し、児童・生徒の学力向上を図っています。現在、小学校4校、中学校2校に1名ずつ配置されており、今

後、増員配置を要望します。  
問 特別支援教育支援員の配置の状況は。

答 全小学校と中学校2校に計24名を配置しています。

問 特別支援が必要となる児童・生徒が全国的に増えている。特別支援アドバイザー制度の活用は。

答 2名を配置し、連携した支援体制を整えています。

学校給食

問 文部科学省の通達の「黙食」を求めない方針に対し、本市の対応は。

答 市内の新型コロナウイルス感染者が増加傾向のため、黙食を継続しています。

問 学校給食は、適正な量が提供されているのか。

答 国の臨時交付金を活用し、保護者負担を求めず、給食の質と量を保ちながら給食の提供ができています。価格高騰により厳しい状況ですが、地産地消に留意し様々な食材を使用し、バランスの取れた献立を作成しています。



代表質問

市長の政策・公約を問う

未来改革やちまた 新見 準



新型コロナウイルス対策

**問** どのような新型コロナウイルス対策を行うのか。

**答** これまで、新型コロナウイルスワクチン接種の促進と、幼児・児童・生徒などの抗原検査の実施、自宅療養者への食糧支援を行ってきました。今後も引き続き、これらの対策を継続して行います。県は、医療のひっ迫を避けるため、高齢者を対象にオンライン診療センターの開設、抗原検査キット配布を再開しています。重症化リスクの低い中学生から6才までの方は、検査キットで自己検査し、医療のひっ迫回避にご協力ください。また、感染確認に必要な抗原検査キットや自宅療養に必要な医薬品、食料品等をあらかじめ自身で準備しておくことをお勧めしています。

**問** 自身が新型コロナウイルスに感染した場合、検査キットは調剤薬局にしか置いていないので買うことが

できない。市で用意して届けることはできるか。

**答** 市では用意できません。市内の調剤薬局5店舗や、通販サイトで販売しており、自身で用意するように願っています。



**問**

健康増進課から八街市内の3つの発熱外来病院を案内されたが、電話したところ「過去にこの病院で診察を受けたか」と言われた。「受けていないと発熱外来で受診できないのか」と聞いたら「はい」と言われた。この状況をどう考えるか。

**答** 発熱外来は市内に3件ありましたが、県への登録上は、過去にかかったことがなくても発熱があった場合は診てもらえると確認しています。

子育て支援の充実、  
出産支援の拡大

**問**

コロナ禍で経済状況が厳しく、子どもを産み育てることが不安になっている。妊娠時の交通費と検診時の費用を一部負担し、安心して検診に行けて赤ちゃんを産めるような八街市にたく、これまで妊婦さんに温かい手を差し伸べてと訴えてきた。子育て支援と出産支援事業の内容は。

**答**

家庭児童相談室の体制強化、ひとり親家庭等には相談体制や経済的支援の充実を図り、自立の支援。幼稚園・保育園・こども園における保育の質の向上、放課後児童クラブや児童館の充実。出産等に対する支援として、子育て世代包括支援センターを中心に、妊娠期から子育て期に渡る切れ目のない支援を実施しています。また、国が創設した「出産・子育て応援交付金」で出産・子育て応援ギフトと伴走型相談支援の実施と、本市独自支援として妊婦が検診や出産のために市外の医療機関へ通院する際の交通費と検査等の費用を一部助成し、経済的負担の軽減を図ります。助成金は妊

地域公共交通

**問**

誰もが乗りやすい地域公共交通とは。

**答**

市民や交通事業者等で構成する「八街市地域公共交通協議会」で策定し、鉄道、民間路線バス、ふれあいバス等の機能と役割分担で移動の足を確保してきました。それぞれの役割と機能として、広域幹線をJR総武本線、周辺都市への連絡と市内交通の骨格を形成する幹線路線を民間路線バス、地域内の移動と支線交通、空白地域の解消はふれあいバス、路線バスでカバーできないエリアの補完として民間タクシーが担ってきました。そして、このたび令和5年10月からデマンド型乗合タクシーの実証実験を始める計画です。これにより、民間タクシーの利用以外の移動手段がなかった交通空白地域を解消します。デマンド型乗合タクシー導入後も公共交通ネットワークを構築し、将来にわたり、持続可能な地域公共交通を確立します。



文書質問

誰もが住みやすい街づくりを

公明党 角 麻子



デマンド型乗合タクシー

実施についての今後のスケジュールは。

今年度、運行業務と配車システム等運営業務を委託する業者を選定する作業を始め、準備が整い次第、市民への周知活動を始めます。

周知方法は。

広報紙や区回覧・ホームページなどに加え、特に高齢者外出支援タクシーの利用者には混乱を招くことがないように個別に案内を送付することを検討しています。また、「デマンド型乗合タクシー」は、事前の利用者登録と予約が必要となるほか、予約に応じて知らない方と「乗り合い」になるなど利用にあたっては一般の民間



タクシーとは異なる特性についてご理解をいただく必要があるため、市民向けの事前説明会を開催し、その会場において事前登録の受付を実施する方向で準備を進めています。

学校の安全で快適なトイレ整備

学校施設の災害対策機能強化の一環として、バリアフリートイレやウォシュレット付きトイレの設置促進に取り組むことも必要だと考えるが見解は。

現状での市内小中学校の設置状況は、バリアフリートイレが小学校9校中5校、中学校4校すべてに設置しており、ウォシュレット付きトイレは、小学校9校中4校、中学校は4校中1校の来客用トイレに設置しています。今後、トイレ改修の際には、各校のバリアフリートイレと来客用トイレにウォシュレット付きトイレの設置を検討します。

学校でのてんかん発作時の口腔用液の投与

文部科学省からの児童生徒がてんかん発作を起こした場合、教職員らが迅速に鎮静されるための治療薬「ブコラム口腔用液」を投与できるとの事務連絡について、各学校にはどのように伝達されているか。

教育委員会ではてんかんの重責状態を迅速に鎮静させる「ブコラム」について認識していますが、現時点では千葉県教育委員会から当該内容についての事務連絡を受けていないことから、学校への伝達は行っておりません。今後、国と県の動向を注視し、必要に応じて対応します。

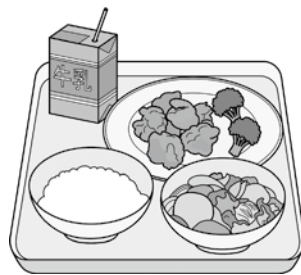
給食費無償化

いつから実施する方向で考えているのか。

「千葉県公立学校給食費無償化支援事業」を活用して第3子以降を対象とした学校給食費の無償化を令和5年4月から実施できるように準備しています。

補助の対象要件は。

子を3人以上扶養している保護者について、市立小・中学校に通う第3子以降の給食費の免除を実施し、多子世帯の経済的負担の軽減を図っていきます。



通学路など道路の安全

通学路など市内道路の安全のための整備状況は。

昨年度行われた通学路緊急一斉点検で挙げられた、対策が必要な150か所については対策を進めており、令和4年11月末時点で128か所の対策を行ったところ。今年度末までに12か所の対策が完了し、合わせて140か所、約93パーセントが対策済みになる見込みです。

個人質問

住みたい！住み続けたい！八街

公明党 栗林 澄恵



弱視の早期発見

問 3歳児検診時におけるフォトスクリーナーによる視力検査の実施状況は。

答 6月からフォトスクリーナーを導入し、視力検査に屈折検査を追加して行っています。フォトスクリーナーを導入した結果、受診者のおよそ8パーセントが新たに弱視を確認でき、今後早期に弱視の発見ができるように努めます。

出産・子育て応援交付金

問 妊娠・出産時の給付方法は。

答 経済支援にあたる「出産・子育て応援ギフト」は、妊娠届出時に5万円相当、出生届出後に5万円相当の2回に分けて、面談を受けてアンケートに回答した方に対して支給することとし、本市は現金による支給を考えています。なお、令和4年4月以降に産まれた方にも遡及して支給しま

す。

パーキング・パーミット制度

問 パーキング・パーミット制度の本市における取り組みは。

答 公共施設や商業施設などに設置されている障害者等用駐車区画を必要とする人が利用証を交付することにより同区画の適正利用を図るもので、運用開始された令和3年度の利用証交付実績は385枚、令和4年度は11月時点で210枚です。周知方法は、窓口のご案内や広報誌、ホームページに掲載していますが、SNS等を活用し、さらに周知、啓発に努めます。



▲パーキング・パーミット制度の利用証

個人質問

未来へ向けての街づくり

誠和会 木村 利晴



森林管理

問 市内にある内陸防風保安林の管理は。

答 土地所有者により維持管理されています。

問 現状の管理における課題点、問題点は。

答 防風保安林は、農地や住宅等への暴風被害を軽減する目的があり、伐採、開墾、その他土地の変質変更が法律で制限されています。また、土地所有者の高齢化や相続等により維持管理が厳しく、様々な補助事業も要件設定があり、なかなか保安林の整備が進まない状況です。

問 今後の維持管理について、実利から生まれた内陸防風保安林だが、落花ぼっちと組み合わせられた文化的景観の保全は。

答 保安林の維持管理、文化的景観の保全については、その必要性は十分認識しています。国や県の補助事業に該当しない保安林の維持管理について、所有者の

管理負担の軽減を図るため、十分検討していきます。



▲市内の内陸防風保安林と落花ぼっちの景観

防災

問 今後の洪水、冠水対策としての調整池建設計画は。

答 調整池の増設計画は、五区枅形地先や吉倉区新田谷津地先、沖区東沖地先にも雨水調整池の整備計画をし、順次計画的な整備に努めていきます。

個人質問

読書環境と子育て支援

誠和会 小菅 耕二



読書環境の整備

**問** 老朽化が進む移動図書館車ひばり号の状況は。

**答** 現在の車輛は、平成7年度から運行しており老朽化が著しく更新の必要があり、今後の運用についてはアンケートをもとに、サービス内容やステーションの見直し等を検討し、より良いサービス提供ができるように努めます。



▲移動図書館車ひばり号

**問** 図書館に行かずに書籍などを借りたり返却できたり、コロナ禍においても有効性に優れている電子図書館の利用状況は。

**答** 電子図書館は、令和3年7月から運用開始しました。今

年度11月末現在、貸出数2千634点、利用者数2577人です。利用者の年代別では50代が最も多く、中高年層の方に多く利用されています。今後もコロナ禍における新しい読書形態として定着しつつある電子図書館の充実と利用促進を図ります。

公立保育園の給食

**問** 保育者の負担軽減のため、主食を持参しなくてよい完全給食の考えは。

**答** 公立保育園の給食は、3歳未満クラスは完全給食で、3歳以上のクラスは副食だけを提供して主食は保護者が持参しています。主食の提供については、園舎が主食の提供を前提に建築されており、調理室が狭く、電力供給等主食提供に必要な設備整備ができない構造であり、保育園で調理した主食を提供することは難しい状況です。

個人質問

落花生マラソン大会の成果は

誠和会 山田 雅士



クリーンセンター

**問** 基幹的設備改良工事の進捗状況は。

**答** 令和3年度計画分は、世界的な半導体不足等の影響で遅れましたが、4年度に繰越し6月末で完了し、令和4年度末では全体の60パーセントの予定です。

**問** 今年度の運営状況は。

**答** ごみ処理量は、4月から半年間で1万1千218・9トン、前年比2・73パーセント減です。運営については、原油高騰や電気料金値上がりの影響を受けています。

**問** 分別されないプラスチック類が可燃ごみに混ざっている影響は。

**答** プラスチック類は焼却カロリーが高いため、焼却炉の劣化を早めます。

小出義雄杯 八街落花生マラソン大会

**問** 大会開催の成果は。

**答** 天候に恵まれ、北は宮城県、南は大阪府から市内外の1千139人の参加でした。また、やはりまた駅北口市と連携し、市の物産のPRもできました。

**問** 次回開催の課題は。

**答** ゴール後の記録証交付、給水場の問題、仮設トイレ不足や交通規制等で選手や市民からいただいた声を受け、改善します。



▲沿道の声援を受け、参加選手たちが力走しました

個人質問

安心して住めるまちづくり

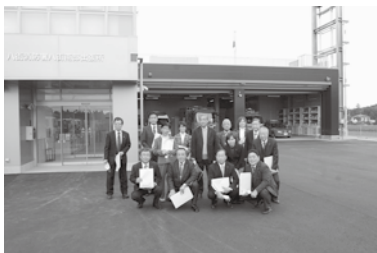
誠和会 小川 喜敬



消防・救急体制

現在の取り組みは。

**答** 令和4年12月1日現在、佐倉市八街市酒々井町消防組合八街消防署の人員配置は、署長以下57名で当直2交代制により、多種多様化する災害から市民の生命・身体・財産を守るため、献身的に従事されています。八街消防署八街南部出張所は、10月7日より新庁舎で業務を開始し、救急業務の充実、職員の衛生管理、執務環境の改善によって、消防業務全体の充実が図られ、八街市南部地域の消防力の強化に繋がりました。



▲11月7日、新庁舎の視察を行いました。

防犯体制

防犯体制の充実は。

**答** 千葉県警察本部、佐倉警察署、八街幹部交番、防犯ボランティア等と連携し、防犯体制の充実を図っており、平成29年度にJR八街駅南口に防犯ボックスを設置し、警察署OB3名によるセーフティーアドバイザーが、防犯パトロールや街頭監視活動など犯罪抑止に努めており、身近な存在となっています。防犯ボランティア団体による地域防犯力向上のため、防犯キャップ、ベスト、啓発用のぼり旗等を提供する支援をしています。防犯カメラを8か所設置し、犯罪発生を抑止と市民の体感治安向上に努めています。特殊詐欺についても、警察と連携した街頭啓発や、SNSを活用した広報啓発活動を行っています。防犯体制のより一層の充実を図り、市民の安全・安心な生活を確保します。

個人質問

活力あふれ安心にくらせる街

誠和会 小山 昌弘



農業への支援策

農業資材高騰化における農業への支援策は。

**答** 市として、これまでに八街市中小企業元気アップ給付金や八街市がんばる中小企業等支援金の事業により、売上げが大幅に減少した農業者に支援してきました。コロナ禍における原油価格高騰の影響から、燃料、肥料、資材等の価格高騰への対応として、市内の農業者へ一律3万円を支給したところです。



▲農業資材、肥料などの高騰により農業経営は厳しくなっています

各区からの要望書

令和4年度の各区からの要望書の件数は。

**答** 令和4年度の区要望書の提出については、11月末現在で、181件です。主な要望内容については、舗装の修繕などが多く、道路の穴埋めなどが55件ありました。各区からの要望書の提出があれば、できる限り迅速に対応していきます。

**問** 要望が拳がってきた道路整備についての内容は。

**答** 傷んだ舗装の修繕要望で、市全域で55件の要望が提出されており、現時点でそのうちの20件が対応済みです。

その他の質問

◆道路整備  
◆こども110番

個人質問

楽しく通える学校に

日本共産党 京増 藤江



伸び伸び過ごせる  
教育環境整備は

問 2021年度、本市の小学

生の不登校は51人、不登校率は1・93パーセント。中学生の不登校は144人、不登校率は9パーセントと小中学生ともに最多となった。文部科学省は2年前、不登校の児童生徒に理由を尋ねる実態調査を初めて行い、小学6年と中学2年の約2千人が答えた。小学6年の29・7パーセント、中学2年の27・7パーセントが「先生が合わなかった。体罰があった」などの回答を選んだ。八街市でも、「担任がどなるのが嫌だ」と、登校を渋る子もいるが、状況をどう捉えているのか。

答 指導の中で、どなることは許されません。本市では、そのような事案の報告はありません。

問 不登校とされない15日から

29日の欠席が増加し、小学生は令和2年度の52人から、3年度

は312人と6倍に激増。中学生は3年度に115人と前年度の約3・48倍。この間、この問題にどう取り組んできたのか。

答 この問題は重大であり、市

独自でスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーを雇用、特別支援教育支援員を増員しました。

問 校則が厳しすぎるという声

に対し、どう対応をしているのか。

答 4中学校で、ルールといっ

た形で生徒や保護者に示し、意見を聞きながら見直しています。例えば、防寒着の種類を増やしたり、靴下の長さや色の規定の変更などです。



個人質問

夢を与える街づくりを

やちまた21 加藤 弘



野球場・文化会館の  
基金条例

問 野球場と文化会館の基金条

例制定後の動きは。

答 野球場建設基金は、延べ35件の寄付を受け、12月1日現在の基金残高は320万1千375円。文化会館建設基金は、延べ47件の寄付を受け、12月1日現在の基金残高は244万8千546円です。今後の対応として、どのような規模で建設すべきかにより

ますが、多額の財源が必要となるため、事業計画、実施時期は未定です。

問 野球場と文化会館について

総合計画に盛り込むことが第一であり、既存のものを拡張して使用できるようにするなどの検討をしてほしい。10年以上、寄付してきた方々の思いがある。市長の考えは。

答 基金にご寄付いただいている方に敬意を表します。今回、ご提案いただいたことを含め、八

街市がさらに前進できる街づくりを議員の皆さまにもご提案をいただきたい。

問 本市の児童・生徒数は年々

減少している。幼稚園、保育園、小学校、中学校の統廃合の検討は。

答 幼稚園の園児数は各園とも

定員に達していない状況が続いており、保育園を含めた幼稚園・保育園の適正配置に関する検討会を設置し、検討しています。小・中学校は、現在、統廃合は検討していませんが、統廃合の検討を進める場合には地域の方の理解を得ながら、丁寧に進めていくことが重要だと考えています。



個人質問

安心して住めるまちづくり

未来改革やちまた 木村 由希子



投票難民がいない選挙を

**問** 投票所へ行きづらい有権者への対応は。

**答** 郵便による不在者投票、介護、福祉タクシー等それぞれの個々に合わせた投票、移動支援があります。人員不足で投票所増設は難しく、有効な方策を調査研究します。

市内道路の安全と美化を

**問** 市内道路の土だまりと雑草の除去への対応は。

**答** 都度撤去しています。市内パトロールが行き届かない場所については区等から連絡をもらい、対応します。

子どもたちと一緒に作るまちづくり

**問** 駅北口市有地に老若男女が楽しめる施設として、横須賀市のうみかぜ公園のようなオリエンピック種目にもなっているスケボー、壁打ちテニスや3ON3バ

スケ、マウンテンバイクなど、建物の要らないミニ運動施設を設置しては。

**答** うみかぜ公園はPPP（公民が連携して公共サービスの提供を行う仕組み）やPFI事業（公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力と

技術的能力を活用して行う新しい手法）と認識しています。様々な提案など含め検討します。



▲横須賀市 うみかぜ公園

**問** 北口市有地だけでなく、子どもたちに市内の未来をプレゼンしてもらっては。

**答** 自ら住み続けたい街づくりができるような子どもたちの育成に努めます。

議会報告会を開催しました

令和5年1月21日土曜日、八街市議会で初めてとなる議会報告会を開催しました。当日は、市民27名の方に参加していただきました。令和4年4月1日から施行した八街市議会基本条例の説明、質疑、意見交換会を行いました。当日の様子や、資料は市議会ホームページに掲載しています。



市議会HP

次回3月定例会日程（予定）

日	月	火	水	木	金	土
2/12	13	14	15 本会議 定例会開会	16	17	18
19	20	21 本会議 一般質問	22 本会議 一般質問	23	24 本会議 一般質問	25
26	27	28 本会議 議案質疑	3/1 委員会 総務	2 委員会 文教福祉	3 委員会 経済建設	4
5	6	7 特別委員会 予算審査	8 特別委員会 予算審査	9 特別委員会 予算審査	10	11
12	13 特別委員会 予算審査	14	15	16 本会議 定例会閉会	17	18

○会議開会予定時刻○

※本会議・委員会…午前10時 特別委員会…午前9時

※☒：パソコン、スマートフォンなどでインターネット中継をご覧になれます。



編集後記

新しい年になり、20歳を祝う会やピーナッツ駅伝、そして議会報告会が開催されました。

今後、この報告会を市民の皆さまと一緒に育てていきたいので、議会だよりと共にご意見をお寄せください。

編集委員 山田雅士